

# 夢をつなぐ

南米・ハワイの「ウチナー」社会

<4>

「日系人とガツエゴは共通点が多い」

在亜沖縄県人連合会は

今年から、スペイン系の

ガリシア移民との文化、

経済交流を積極的に進め

ようとしている。

人口約三千七百万人の

アルゼンチンで、日系人

は約三万五千人と推計さ

れるが、県系人が七割以

上を占める。スペイン系

は人口の30%弱を占める

が、その中でも北西部地

方のガリシア自治州から

移り住んだ子孫を「ガツ

エゴ」と称し、少数派な

がら強い結束力で知られ

る。

拠点となる在亜ガリシ

アセンターは一九〇七年

設立で、現在の会員数は

約二万五千人。同胞の相

互扶助を目的に、総合病

院や劇場、図書館などを

運営している。

中核の医療部門は、六

十の診察室と八つの手術

室、三百五十床の病室を

備え、四百人の医師、二

アレザンチン

## 新たな交流模索

ている。月に二万八千件

の外来と五千件の急患、

年間四千例の手術を執り

行う。

稲嶺恵一知事は八月二

十六日、ブエノスアイ

ス市内の同センターを

訪問した。出迎えたロ

ヘリオ・アロンソ会長は

「日系人もガリシア移民

も勤勉で誠実、犯罪に

手を染める者はいない。

世界に移民社会をつく

っているのも共通点

だ」と述べ、知事を歓迎

した。

アルゼンチンではクリ

ニング店を営む県系人

が多いが、ガリシア人は

スペイン系移民の在亜ガリシアセンターを訪ね、アロンソ会長(左)と会談した稲嶺恵一知事(右) 8月26日、アルゼンチン・ブエノスアイレス市



## スペイン系移民に親近感

う。

在亜県人連合会の新垣

定一幹事は「沖縄とガリ

シアはそれぞれの中央と

は異なる文化を持つな

ど、歴史的にもよく似て

いる。知事の訪問で、今

後の交流に弾みがつく

と喜んだ。

くしくも、双方の移民

社会を象徴する作家がそ

れぞれ生まれている。

「ガイジン(外人)」

のタイトルで県系一世の

父親の足跡をたどった又

吉マキシミリアーニ(三

さんと、ベストセラー

「ママ」を書いたガリシ

ア人のフェルナンデス・

ディアスさん。「ガイジ

ン」は昨年、中南米のス

ペイン語圏諸国を対象に

した文学賞を受賞し、マ

吉さんは一躍、南米のロ

系社会で知られる存在と

なった。

県人連合会では、交流

の手始めとして、今月初

旬に二人の対談を企画し

た。対談の前に又吉さん

は「ウチナーンチュ」とし

て意識したことはない

が、自分が知らなかった

父親の歴史を垣間見たか

った。「ママ」との共通

点はたくさんあると思

う」と話した。

県系人社会の世代交代

が進む中で、新たな交流

の行方が注目されそ

う。

(政経部・外間聡)